

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年1月19日(2023.1.19)

【公開番号】特開2021-108671(P2021-108671A)

【公開日】令和3年8月2日(2021.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2021-034

【出願番号】特願2020-5(P2020-5)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月29日(2022.12.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技結果に応じた表示態様で図柄を停止表示可能に構成された図柄表示手段と、

大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、を備え、

前記大入賞口を開閉する当り状態を制御可能な遊技機であって、

前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、

前記特定状態は、有利度がそれぞれ異なる第1特定状態と第2特定状態とを含み、

前記当り状態に制御される場合、前記図柄を第1特定表示態様で停止表示し、

前記特定状態に制御される場合、前記図柄を前記第1特定表示態様とは異なる第2特定表示態様で停止表示する、

30

ことを特徴する遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の上記目的は、下記の手段によって達成される。

(1) 遊技結果に応じた表示態様で図柄を停止表示可能に構成された図柄表示手段と、

大入賞口を開閉可能に構成された特別電動役物と、を備え、

前記大入賞口を開閉する当り状態を制御可能な遊技機であって、

前記当り状態を経由することなく移行可能な特定状態を有し、

前記特定状態は、有利度がそれぞれ異なる第1特定状態と第2特定状態とを含み、

前記当り状態に制御される場合、前記図柄を第1特定表示態様で停止表示し、

前記特定状態に制御される場合、前記図柄を前記第1特定表示態様とは異なる第2特定表示態様で停止表示する、

40

ことを特徴する遊技機。

50